

殺菌剤

セルカディス® D フロアブル

®=BASF社の登録商標

殺菌剤分類 M9, 7

有効成分

ジチアノン(PRTR・1種) 42.0%

フルキサピロキサド(通称名:ゼミウム®) ... 4.7%

登録番号: 第24314号

性状: 褐色水和性
粘稠懸濁液

毒性: 医薬用外劇物

有効年限: 4年

包装: 333ml×20本



■特長

- セルカディス®DフロアブルはSDHI剤の「ゼミウム®」と、多作用点殺菌剤「ジチアノン」の混合剤です。
- 作用の異なる2成分の混合剤であり耐性菌管理にも有効です。
- ゼミウム®は高い浸透性を持ち、ジチアノンとの本混合剤は優れた残効性を有します。
- 安定した予防効果と優れた治療的効果で主要病害に高い効果を発揮します。
- 既存薬剤に対して耐性が確認された病害に対しても優れた効果を発揮します。

■適用病害と使用方法

(2023年12月20日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジチアノンを含む農薬の総使用回数	フルキサピロキサドを含む農薬の総使用回数
りんご	モニリア病 黒星病 斑点落葉病 黒点病 褐斑病 うどんこ病 赤星病 炭疽病 輪紋病	1000~ 1500倍	200~ 700ℓ /10a	収穫60日 前まで	3回以内	散布	3回以内	3回以内
	なし			5回以内				
もも	灰星病 黒星病 ホモブシス 腐敗病	1500倍		収穫7日前 まで	2回以内		4回以内	2回以内
ネクタリン	縮葉病 せん孔細菌病			2回以内				

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジチアノンを含む農薬の総使用回数	フルキサピロキサドを含む農薬の総使用回数
かんきつ	そうか病 黒点病 灰色かび病	1000～ 1500倍	200～ 700ℓ /10a	収穫30日 前まで	3回以内	散布	3回以内	3回以内
うめ	黒星病 すす斑病	1500倍		収穫14日 前まで	2回以内		2回以内	

⚠ 効果・薬害等の注意事項

- 使用に当たっては容器をよく振ってください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 散布液調製の際は、水をかきまぜながら本剤の所定量を徐々に加えてください。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさけてください。
- りんごの展葉後に降霜があった場合、本剤を開花中に使用すると花卉に薬害を生じるおそれがあるため散布をさけてください。
- ハウス栽培のなしに対しては、薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 機能性展着剤(アプローチB I など)の加用は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- かんきつに使用する場合は次のことに注意してください。
 - ①開花期以降のマシン油乳剤との混用散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。また開花期以降に本剤を使用する場合には、マシン油乳剤との散布間隔を30日程度あけてください。
 - ②夏期以降の散布は果皮に薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
 - ③収穫後長期間貯蔵する中晩柑に使用する場合は、貯蔵中、果皮に斑点が発生することがあるので、散布をさけてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

⚠ 安全使用上の注意事項

- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 原液は眼に対して強い刺激性があるので散布液調製時には保護メガネを着用し、薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮ふに対して刺激性があるので皮ふに付着しないように注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。

- 作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 施設内で使用する場合、窓等を開放し十分に換気してから施設内に立ち入ってください。

魚毒性…水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。
使用残りの薬液が生じないように調製し、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保 管…密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼な所に保管してください。
カギをかけてください。盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

さらに詳しい製品情報はこちらから

※QRコードを読み込む、
またはクリックしてください。

